

お知らせ表示されたとき

次の点を確認してください。

※英字と数字が交互に表示し、お知らせします。

お知らせコードと意味	直し方
C- ↔ 01 ダストケースがセットされていません ハンドルが倒れていません	ハンドルを起こした状態で 本体に取り付ける → ハンドルが止まるまで倒す
C- ↔ 02 本体が持ち上げられています 脱輪しています 障害物やじゅうたんで車輪が空転しています 鏡面や黒色の床面でセンサーが動きません 直射日光でセンサーが動きません 狭い空間で本体が動きません センサーが汚れています	前面センサー・段差センサー をふさぐ異物を取り除く →(P.14,23) → 平らな、鏡面や黒色でない、 直射日光の当たらない、 広い床面に本体を置く →(P.12~15)
C- ↔ 03 車輪が動作しません	車輪に絡みついた糸くずなどの異物を取り除く →(P.24)
C- ↔ 04 回転ブラシが動作しません	回転ブラシ、取り付け部に 絡みついた糸くずなどの 異物を取り除く →(P.26) → 回転ブラシと吸込口カバー を確実に取り付け
C- ↔ 05 サイドブラシが動作しません	サイドブラシに絡みついた糸くず などの異物を取り除く →(P.27) → サイドブラシを確実に 取り付け
C- ↔ 06 バンパーが誤動作しています	バンパーに挟まったり、はりついたりしている異物を取り除く
C- ↔ 07 前面センサーが誤動作しています	前面センサーをふさぐ異物を取り除き、 汚れをふき取る
C- ↔ 12 主電源が「OFF」です	本体を充電台にセット して充電開始 → 主電源スイッチを「ON」にする

上記の表示以外または上記の対処方法で直らない場合は、取扱説明書の「お困りのとき」をご覧ください。→(P.28)

F- 「F-」が表示された場合、主電源スイッチを一度「OFF」にして、再度電源を入れ直してください。何度も繰り返し表示される場合は使用を中止し、修理を右記に記載の相談窓口へ依頼してください。

お困りのとき

症状	確認するところ	直し方
電源が入らない	①主電源スイッチを「ON」にする	②充電する
運転中に止まっていた	電池表示ランプが点滅している 「ごみすて」が点滅している 「おしえて」が点滅している	充電する ごみを捨てる→(P.21) ごみセンサーをふく→(P.23) ①お知らせ表示を確認する
運転しない	主電源スイッチを「ON」にする	②お知らせ表示を確認する
充電できない (電池表示ランプが点灯しない)	①主電源スイッチを「ON」にする	②本体を充電台にセットして充電開始

詳しくは取扱説明書の「お困りのとき」をご覧ください。→(P.29~31)

商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口

TEL 0120-3121-11
携帯電話・PHSから 050-3155-1111 (有料)
FAX 0120-3121-34
 (受付時間) 9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)
 年末年始は休ませていただきます。

QRコード

ホームページから「よくあるご質問」をご覧ください。スマートフォンやタブレット端末で読み取ってください。ご利用の際は、通信費等の費用がかかります。

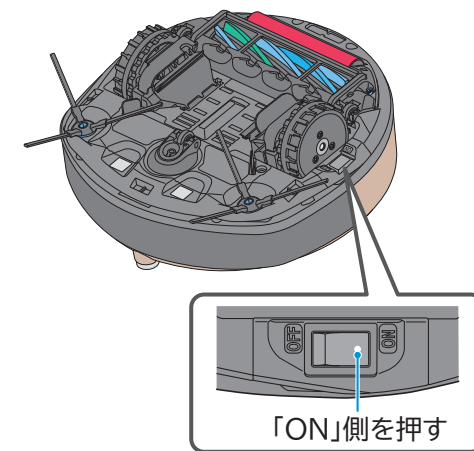
日立ロボット掃除機 RV-DX1 カンタンご使用ガイド

詳しくは「取扱説明書」をご覧ください。また「取扱説明書」の「安全上のご注意」をお読みいただき、正しくご使用ください。→(P.00)：このマークは「取扱説明書」の記載ページです。

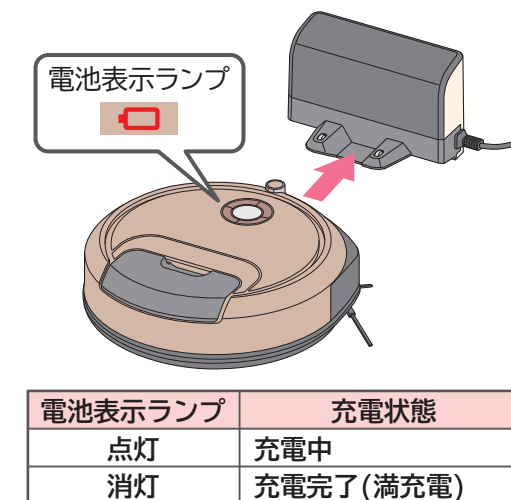
充電する

お買い上げ時は電池が十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。(充電時間は最大約3時間です)

1 主電源スイッチを「ON」にする



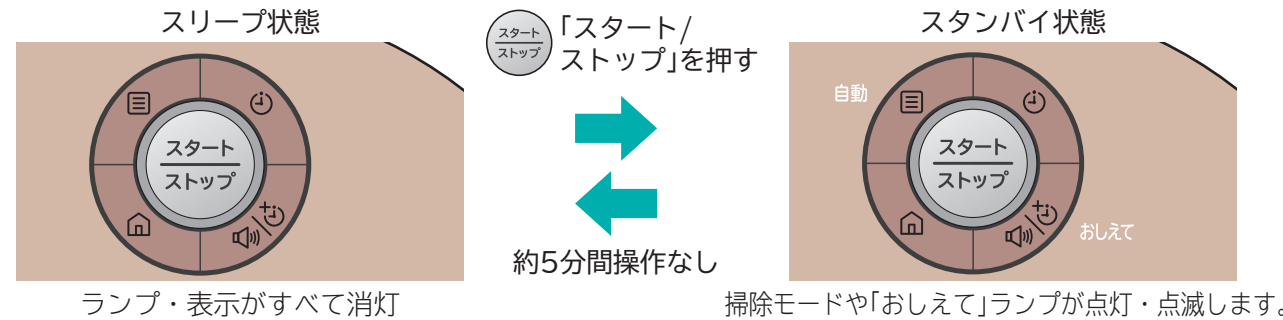
2 本体を充電台にセットする



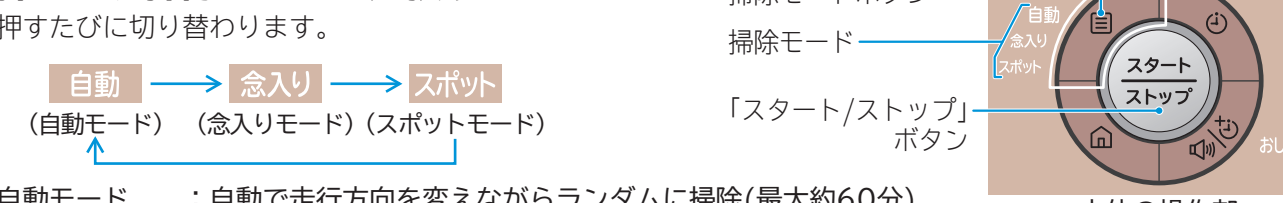
電池表示ランプ	充電状態
点灯	充電中
消灯	充電完了(満充電)

運転のしかた

1 スリープ状態からスタンバイ状態にする

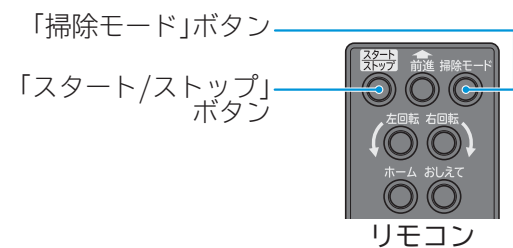


2 本体の (掃除モード) またはリモコンの 「掃除モード」を押して、掃除モードを選択する



自動モード : 自動で走行方向を変えながらランダムに掃除(最大約60分)
 念入りモード : 自動モードより長い時間掃除(約70分)
 スポットモード : 直径約60cmの範囲内を強い吸込力で掃除

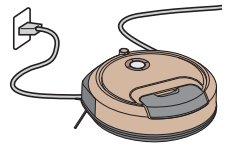
3 本体の またはリモコンの 「スタート/ストップ」を押して、運転を開始する



部屋を整える(掃除の前に)

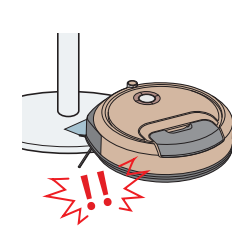
お部屋の整理をすることで、スムーズに掃除できるようになります。吸い込まれると困る物、本体の移動を妨げる物、回転ブラシ・サイドブラシ・車輪に巻き込まれやすい物は片づけてください。片づけられていない場所では、家具や床面などを傷つける原因となります。

電源コードなどは片づける。本体が引っかかる場合があります。

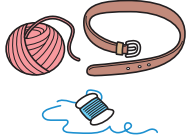


本体より低い高さに操作部がある電化製品は移動する。

本体が当たって、操作部を押したり、本体が停止したりする場合があります。



ひも・ベルトなど細長いものは片づける。サイドブラシや回転ブラシなどに巻き込まれる場合があります。

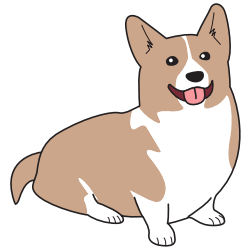


窓は閉める。本体が屋外に出てしまう場合があります。

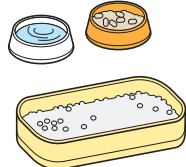
床との隙間が本体の高さと同じくらいであったり、隙間が一定でない家具は壁代わりにするものを前に置く。本体が引っ掛かって、家具の下から出られなくなったり、本体や家具に傷がつく原因になります。

細長くて軽い家具は別の部屋に移動する。本体が当たって転倒する場合があります。

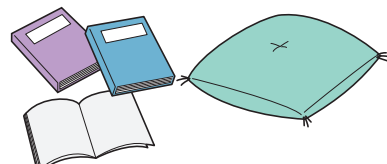
ペットはケージやサークルに入れるか、別の場所に移動する。本体が当たってけがをする場合があります。



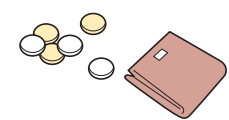
ペットの排泄物や液体は片づける。吸い込むと故障の原因になります。



座布団・布団・本・雑誌など、移動を妨げるものは片づける。



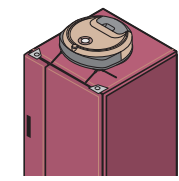
吸い込まれやすい小物や高価なものは片づける。



日光が当たる場所はカーテンなどで日光を遮る。日光などの赤外線が本体や充電台に当たると、本体がその場所を避けたり、充電台に戻れなくなる場合があります。

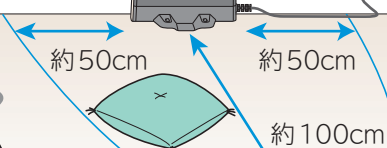
カーテンなど床に垂れ下がったものは上げる。サイドブラシや回転ブラシなどに巻き込まれる場合があります。

冷蔵庫や家具の上、キャットウォークなどの狭くて高い場所では使用しない。落下する場合があります。



充電台は壁に沿わせて置く。(本体に押されて充電台が移動するのを防ぐため) また、充電台の電源コードは本体が引っ掛からないよう、壁に沿わせてください。

充電台の前方約100cm、左右約50cmの範囲は物を置かない。本体が自動で充電台に戻れなくなる場合があります。



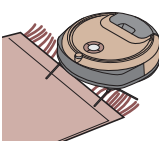
火のついたろうそく・たばこ・線香などや壊れやすいものはテーブルなどの高い場所に置かない。本体が接触した衝撃で落下する場合があります。また、床にも置かないでください。

傷つきやすい建具、家具、敷居は(例:土壁・障子・ふすま・びょうぶなど)壁代わりにするものを前に置く。本体が当たって傷をつける場合があります。

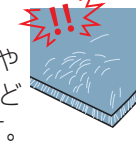
脚と脚の間が狭いすやパイプいすは片づける。本体が挟まって抜けなくなったり、引っ掛かったりして、停止する場合があります。

ドアはきちんと閉めるか、完全に開いた状態でストッパなどで固定する。また、本体を入れたくない部屋がある場合は、部屋のドアを閉める。

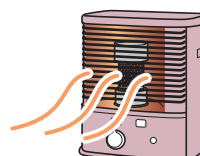
飾り房が付いている敷物や座布団は片づける。サイドブラシや回転ブラシなどに巻き込まれる場合があります。



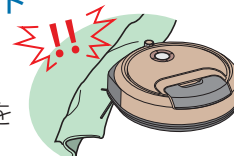
毛足の長さが約2cmを超えるじゅうたんなどの敷物は片づける。運転が停止したり、毛足がサイドブラシに絡みつき、敷物やサイドブラシを傷める場合があります。また、毛足の材質などによっては、2cm以下でも運転を停止することがあります。



暖房器具(ストーブ)など高温になるものは使用しない。



お風呂マット・台所マット・じゅうたんなど薄くて滑りやすい敷物や滑り止め用ゴムマットなど粘性のある薄い敷物は片づける。本体が敷物を押して、敷物やサイドブラシを傷める場合があります。



部屋を整える(本体が落下する場合があります)

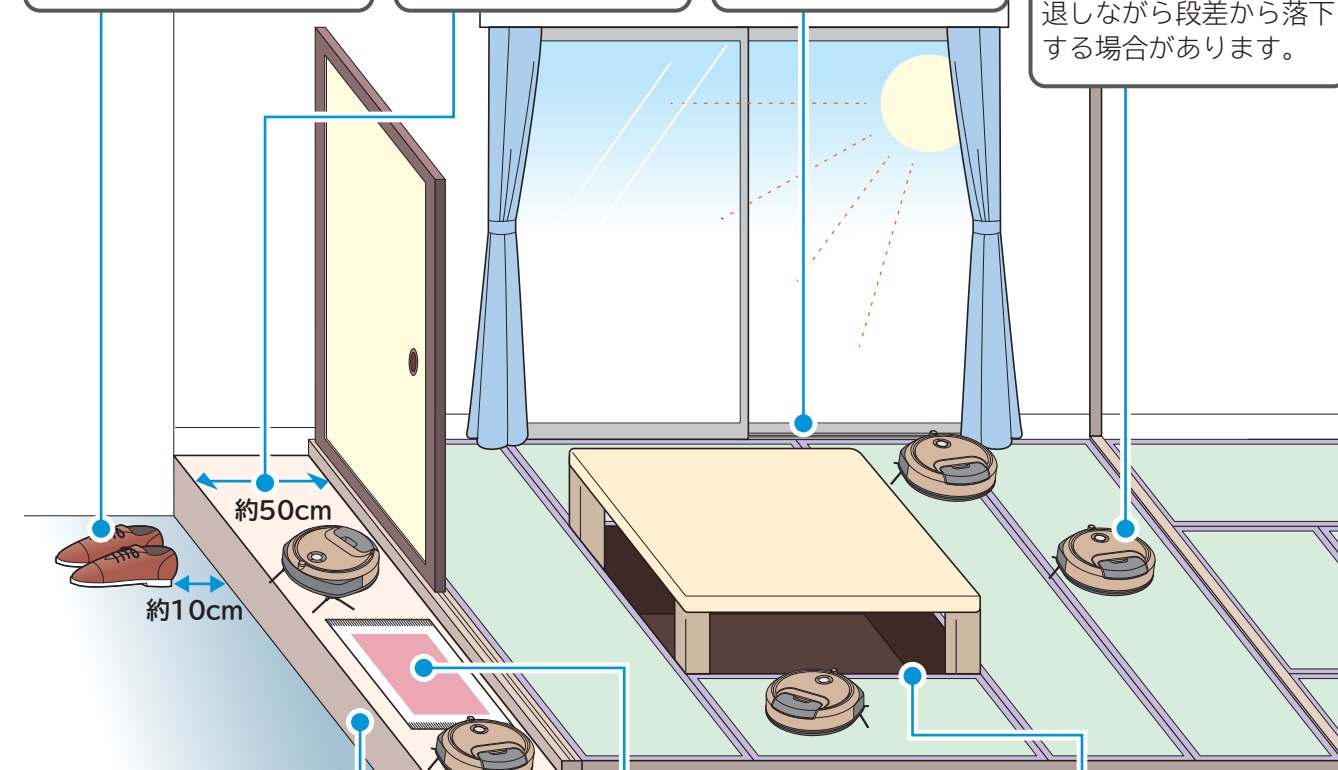
落下を防ぐために、落下のおそれがある場所の手前に壁代わりになるものを置いてください。

段差付近の靴は段差から約10cm以上離して置く。段差センサーが段差と認識せずに落下する場合があります。

壁から段差までの幅が約50cm以下の場所は使用しない。後退しながら、落下する場合があります。

掃き出し窓は閉める。段差センサーがサッシなどを段差と認識せずに落下する場合があります。

日光が当たる場所はカーテンなどで日光を遮る。日光の赤外線が本体に当たると、日光のあたる場所を避けようとして、後退しながら段差から落下する場合があります。

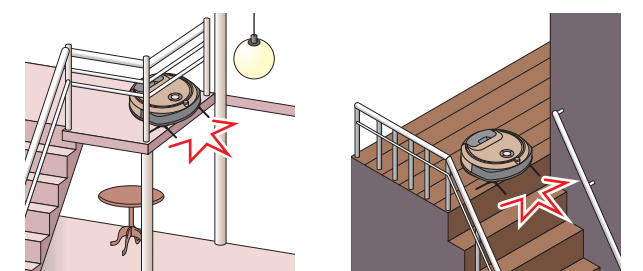


約5cm以下の段差は壁代わりにするものを前に置く。段差センサーが段差と認識せずに直進しながら落下する場合があります。

段差付近のじゅうたんやマットなどの敷物や本体の下に入り込む小物は片づける。本体が物に乗り上げたり引っ掛かったときに、段差センサーが段差と認識せずに落下する場合があります。

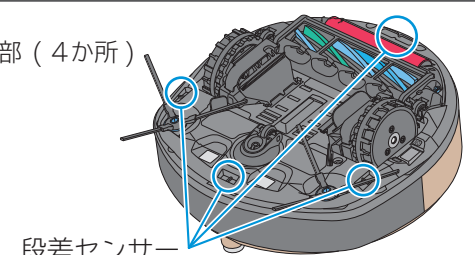
掘りごたつは周辺に壁代わりにするものを置か、ふたをする。段差センサーが段差と認識せずに落下する場合があります。

落下防止柵のないロフト、吹き抜け・階段に面した床、階段の踊り場では使用しない。万が一本体が落下した場合は破損・けがの原因となります。



段差センサーは定期的にあいってください。また、汚れているときもあいってください。→(P.23) 段差センサーが汚れると、段差の高さによらずに落下する場合があります。やわらかい布に水を含ませ、よく絞ってからあいってください。

部(4か所)



段差センサー